

令和七年度花巻市民芸術祭

第十九回文芸大会作品集

児童・生徒の部

花巻市民芸術祭実行委員会

第20回花巻市民芸術祭第19回文芸大会入賞者 小・中学生の部

と き 令和7年11月15日
 ところ 大迫ふるさとセンター

<短歌>

小・中学生の部

奨励賞

—小学校—	笹間第一小学校	6年	猫塚 心麗
	笹間第一小学校	6年	村上悠之進
	笹間第一小学校	6年	八重樫詩琉
	笹間第一小学校	6年	伊藤 遙音
—中学校—	大迫中学校	2年	阿部 圭吾
	湯口中学校	2年	久保田 蓮
	湯口中学校	2年	高橋 瑤葵
	花巻北中学校	2年	細川 航汰
	花巻北中学校	2年	赤崎 希美

<俳句>

小・中学生の部

奨励賞

—中学校—	湯口中学校	3年	鈴木 彩華
	花巻北中学校	3年	小野寺碧花
	大迫中学校	3年	佐々木珠莉
	花巻北中学校	3年	藤原 幸暉
	花巻北中学校	3年	小川 剛

<詩>

小・中学生の部

—中学校—	奨励賞	「えんぴつ」	大迫中学校	1年	伊藤 舞夏
	奨励賞	「花火の夜」	湯口中学校	1年	佐々木愛莉
	奨励賞	「輝く月」	花巻北中学校	1年	福地 優花
	奨励賞	「あさがお」	湯口中学校	1年	高橋 咲陽
	奨励賞	「夜のおやつ」	花巻北中学校	1年	小原 真子
	奨励賞	「筆箱のなかみ」	大迫中学校	1年	吉田 茉叶

目次

一、短歌

小学生

獎勵賞
参加作品

P P
2 1
} }

一、短歌

中学生

獎勵賞
参加作品

P P
4 3
} }

一、俳句

中学生

獎勵賞・入選
参加作品

P P
14 10
} }

一、詩

中学生

獎勵賞
参加作品

P P
24 22
} }

令和7年度花巻市民芸術祭第十九回文芸大会

「短歌」

小学生の部

多田 聰子 選

奨励賞

たのしみは犬と一緒に風あびて犬と二人でおさんぽする時

笹間第一小学校 六年 猫塚 心麗

たのしみは学校帰りに夕飯を考えながらペダルこぐとき

笹間第一小学校 六年 村上悠之進

たのしみは早起きマラソンランニング生き物見つけより道する時

笹間第一小学校 六年 八重樫詩琉

たのしみは静かな部屋で絵をかいとうまくできたのがめている時

笹間第一小学校 六年 伊藤 遙音

参加作品 小学生の部

たのしみは一日終わり家へ行きなにもしないまま仮眠する時
 たのしみはかるい足どりスキップし体育館へむかう時
 たのしみは友とたのしく笑い合い体育館でバスケットをする時
 楽しみは日がのぼるころズッキーニ料理してしあわせな時
 たのしみはラーメンお肉たくさんのおいしいご飯を食べている時
 たのしみは学校終わって友達と体育館でバスケットをする時
 たのしみは自分の部屋で友達と通話しながらゲームをする時
 たのしみは休日の日に家にいすぎても部屋でたくさんゲームをする時
 たのしみはねころびながらゲームをしておかしはおぼり食べているとき
 たのしみは友達いっしょにゲームをし大きな声で泣き笑いする時
 たのしみは家に帰って好きなゲームを時間いっぱいやりつづける時
 たのしみは友達の家でゴールに向かってバスケットをし転んで笑う時
 たのしみはトロロンボンがうまくなり上級がくふをまちのぞむ時
 たのしみは強い相手と戦ってみんなで協力勝ちとする時
 たのしみは家に帰ってゴロゴロとおやつとテレビだいまんぞく
 たのしみは休日に行くスーパーでアイスやおかしをみんなで買う時

笹間第一小学校 六年 小原 捺稀
 笹間第一小学校 六年 堀田 蕾
 笹間第一小学校 六年 八重樫 桔平
 笹間第一小学校 六年 照井 颯介
 笹間第一小学校 六年 高橋 里菜
 笹間第一小学校 六年 高橋 龍
 笹間第一小学校 六年 鎌田 優良
 笹間第一小学校 六年 八重樫 颯羽
 笹間第一小学校 六年 盛川 満央
 笹間第一小学校 六年 伊藤 琥博
 笹間第一小学校 六年 高橋 幸平
 笹間第一小学校 六年 斎藤 ころろ
 笹間第一小学校 六年 平藤 花
 笹間第一小学校 六年 照井 仁子
 笹間第一小学校 六年 佐藤 もも
 笹間第一小学校 六年 野上 優真

令和七年度花巻市民芸術祭第十九回文芸大会

「短歌」

中学生の部

多田 聰子 選

奨励賞

ついに来た試験の結果見るときはいつもドキドキ慣れぬ緊張

大迫中学校 二年 阿部 圭吾

バドミントンシャトルの中心たたきこみコートのすみに決めるスマッシュ

湯口中学校 二年 久保田 蓮

新人戦スタートをきる未来地図つのる思いをラケットに乗せて

湯口中学校 二年 高橋 瑤葵

あと一步届かなかった夢切符「来年こそは」と火がつく心

花巻北中学校 二年 細川 航汰

二キロ地点苦しい中で響く声「北中頑張れ」押される背中

花巻北中学校 二年 赤崎 希美

参加作品 中学生の部

中総体の個人戦日々の練習が足りずはかなくちった

昼休みみなでトランプ大富豪革名起こし一発逆転

ぼーっとする終わった給食五時間目みどりながめて何か発見

食べすぎたなんかおながはっている薬をのんで今日はもうねる

時間割見るたび萎える本日は五教科だー早く終わって

時計のおと聞こえてくる授業中まるで応援しているみたい

食べていたアイスが溶ける服につく隣で聞こえる扇風機のうた

桜の木暑くなってきたてさわやかな緑のドレスまといておどる

フライパン油のシートかけた後上から敷くよ卵のふとん

雨の中一点争う接戦中滑る校庭響く応援

駅伝でアンカーになったみんながつないだバトンをせおい走りだす

小川で遊んでいて怒られたでも楽しかったあの日の放課後

庭にきた赤い首輪の自由猫ステップ踏んで冒険中

ドンコさん怪獣みたくゴツイかおすこしかわいいロマンがある

浮ついた気持ち飛び出し怒られた楽しかった大会前日

セミの声うるせえーなどおもいつつ夏がすぎるとすこしさびしい

映画館スナックジュース日輪刀アニメの世界いどつふりつかる

夏休み友にさそわれ肝試しクオリティ高くひざ笑い出す

ベランダで見上げる夜空深呼吸吸色とりどりの花火かがやく

放課後にみんなで集まり水遊び今だけ感じる青春の風

昼休みしようもない話それなのに笑ってくれる親友がいる

大迫中学校	二年	浅沼 宏明
大迫中学校	二年	伊藤 永太
大迫中学校	二年	伊藤 奏
大迫中学校	二年	内村 駿太
大迫中学校	二年	梅津 結愛
大迫中学校	二年	梅村 加衣
大迫中学校	二年	岡本ひなた
大迫中学校	二年	菊池 采花
大迫中学校	二年	佐藤志美嘉
大迫中学校	二年	佐藤 妃夏
大迫中学校	二年	佐藤 来雄
大迫中学校	二年	藤原 歩斗
大迫中学校	二年	丸田 和
大迫中学校	二年	峯村 亮汰
大迫中学校	二年	柳田 優太
大迫中学校	二年	阿部 銀春
湯口中学校	二年	岡谷 按実
湯口中学校	二年	神山 芽生
湯口中学校	二年	金野 佑我
湯口中学校	二年	斎藤 絵
湯口中学校	二年	齊藤 菜穂

ある日見たひそやかに咲く百合の花白色光り心落ち着く
 新人戦みんなで協力団体戦一人で頑張るいけ！個人戦
 東和戦チームみんなで気合入れ優勝つかんだ最高の夏
 盛岡のお化け屋敷で友達とたくさん遊んで楽しかったな
 おぼん後に食べてこうかいダイエツトのるのがこわい体重計よ
 夏休みゲームに集中していたら気づけば外は朝になってた
 会長杯日頃の成果発揮する予選突破にあともう一戦
 盆の入り親戚集まりわいわいと御先祖様が見守っている
 セミの声朝から夕までミンミンとやかましすぎて尽きない残響
 マウンドでふりかぶりボール握りしめ緊張の中全力投球
 最終戦これまでの日々思い出し自信に満ちて乗る飛び込み台
 友達とプールで過ごす暑い夏涼んでのんびり長い休日
 窓の外風にゆられるスキの穂くりかえされるすてきな音色
 部活動友達二人気まづくてそのまま試合これも青春
 市陸上本番に向け朝早く千五走った夏の思い出
 夏の夜輝く花火見とれてる空に一面夏の宝石
 墓参り己の願いでご先祖が困ったのだろうか線香つかず
 体育館入った瞬間熱風がもわんもわんととけちやいそうだ
 駅伝でみんなでつなぎ県大会上位ねらって東北出場
 通学路青空の下自転車で涼風切って夏を感じる
 中総体切らしちゃだめだ集中力相手に見せる自分の実力
 汗が垂れ上を見上げて独り言「いつまでかな」とため息を

湯口中学校	二年	齊藤	心咲
湯口中学校	二年	齊藤	悠太
湯口中学校	二年	佐々木	快斗
湯口中学校	二年	瀬川小弓	美
湯口中学校	二年	高野橋	なつめ
湯口中学校	二年	高橋	輝水
湯口中学校	二年	高橋	香那
湯口中学校	二年	高橋	慶多
湯口中学校	二年	高橋	慶多
湯口中学校	二年	高橋	幸大
湯口中学校	二年	高橋	菜緒
湯口中学校	二年	筑後	瑞葵
湯口中学校	二年	照井	藍琉
湯口中学校	二年	照井	大吾
湯口中学校	二年	照井	正煌
湯口中学校	二年	照井	柚羽
湯口中学校	二年	平賀	麻衣
湯口中学校	二年	藤井俐流	羽
湯口中学校	二年	藤原	清来
湯口中学校	二年	山形	美結
花巻北中学校	二年	稗貫	航
花巻北中学校	二年	高橋	七海

休日の部活動先輩が蜂に刺され大絶叫

返されたテストの結果母にみせ般若の顔ではあつとため息

お祭りで人沢山で人酔いだおいしかったな屋台の食べ物

保育園職場体験先で行く皆わいわい集まり盛りにぎやかな園

夏が来た蟬の声が聞こえてくるきれいな青空夏が来たな

溶けている音楽室が暑すぎてもう耐えられない今年の夏が

祭の夜暗闇の中輝いた美しき私の私を照らす

中総体予選決勝接戦だそれでも勝つぞあきらめないぞ

旅行中千円なくし大阪で今千円はどこにいるかな

日曜の部活休みで楽しみだ自分だけの自由時間

中総体選手紹介返事するライオンのように大きな声で

七夕の光り輝く天の川みんなの願い十人十色

練習を頑張ってきたそれなのに調子が悪く成果が出ない

先輩が体を張って取り組んだ頑張っていた中総体

職場先騒がしい日々の幼稚園みんな大好きかわいい子供

おもてなしキンキンアイスもらったらあつたかくなつた心がぽかぽか

テストの日目標点数惜しかった三点足りず母のげんこつ

暑い中息を合わせてジャンプするがんばれみんなまけるなみんな

中総体崩しちやだめだあと一点本気と集中絶対に勝つ

ああああ声がふるえる扇風機子どもの頃の涼しい思い出

テストの点低くなつてしまつたら親に怒れスマホ禁止

休みの日兄と二人で映画館最後で感動涙あふれる

花巻北中学校 二年 千田 快

花巻北中学校 二年 八畝 奏

花巻北中学校 二年 鎌田 愛々

花巻北中学校 二年 高橋 愛音

花巻北中学校 二年 菊池 栄太朗

花巻北中学校 二年 吉田 祐梨

花巻北中学校 二年 佐藤 美玲

花巻北中学校 二年 平 咲穂

花巻北中学校 二年 小林 偉斗

花巻北中学校 二年 穂高 知輝

花巻北中学校 二年 坂本 和沙

花巻北中学校 二年 鎌田 鈴禾

花巻北中学校 二年 田井 七海

花巻北中学校 二年 佐々木 蓮鳳

花巻北中学校 二年 高八卦 優心

花巻北中学校 二年 阿部 心春

花巻北中学校 二年 高橋 妃那

花巻北中学校 二年 金子 奈都

花巻北中学校 二年 阿部 晴真

花巻北中学校 二年 堰合 誉

花巻北中学校 二年 花山 獅道

花巻北中学校 二年 宮澤 杏里

お祭りでキーホルダーを落としたよ今は平気で後から後悔
 中総体負けた悔しいだがしかしこれを糧とし勝ちに行くぞと
 中総体頑張ったのに負けちゃった来年こそは絶対優勝
 テストの日きつと絶対うまくいくだから信じて今までの自分
 手で握るマレット見詰め成功を祈って始める「希望のすべてに」
 スタート前足に翼を授けて待ちスタートダッシュで一氣に離す
 睡眠の時間を削り勉強しシャーペン持つて埋まる解答
 もう少し後もう少しと考えて仲間につなぐ黄色のバトン
 絶対にミスるわけないバトンミス全員リレー力を合わす
 燃え上がる暑さに負けぬ全力でみんな挑む体育祭
 実況集中だミスったらヤバイだからがんばりますよ
 かんたんなシュートを打ちしつぱいしつぎこそうまくいきますように
 大会で決めたら勝てるあと一点ボール見つめてレシーブ集中
 暑き日の日差しも気にせず走り出す僕の愛しのソフトクリーム
 勉強をしろと言われてしかられていやいやするとまたしかられる
 全員でバトンをつなぎ応援し深まつていくクラスのきずな
 暑い日の涼しい教室さいこうだ三十度越えの炎点下の日
 2学年全員リレー赤青に負けないくらいゴールに向かう
 ピストルの音でみんなが飛びだしてオーエスオーエス一致団結
 笛が鳴りボールについて深呼吸狙う場所決め一球入魂
 試合中コートに入り深呼吸サーブレシーブ成功したい
 よかったな体育祭で優勝だみんなであつてみんなうれしい

花巻北中学校	二年	松田	深里
花巻北中学校	二年	及川	竜輝
花巻北中学校	二年	平賀	舷笙
花巻北中学校	二年	伊藤	彩乃
花巻北中学校	二年	薄衣	新
花巻北中学校	二年	蛭名	勝絆
花巻北中学校	二年	及川	結生
花巻北中学校	二年	小原	ほたる
花巻北中学校	二年	鎌田	蒼祐
花巻北中学校	二年	菊池	蒼稀
花巻北中学校	二年	工藤	大志
花巻北中学校	二年	熊谷	咲奏
花巻北中学校	二年	熊谷	泰知
花巻北中学校	二年	小菅	佑真
花巻北中学校	二年	佐々木	葉那
花巻北中学校	二年	佐々木	美音
花巻北中学校	二年	佐藤	一希
花巻北中学校	二年	佐藤	萌唯
花巻北中学校	二年	高橋	陽向
花巻北中学校	二年	高橋	桃佳
花巻北中学校	二年	照井	瑠花
花巻北中学校	二年	一兜	侑來

まだ梅雨が明けてないのに暑すぎるどうした地球どうなる地球
 大会でコートに入り集中だ得意な技で決められますように
 朝早く天にのぼった太陽はずっと見ている日本全国
 体育祭次の年で終わるから優勝目指してバトンつなご
 部活なし暇な休日なにもせず夜に気付いた英語の課題
 やる気出し一生懸命頑張ろうしつかり集中職場体験
 試合中緊張しすぎてあと一本届かなかったが来年こそは
 大会で結果発表聞くとときに思う気持ちは人それぞれだ
 接戦で点数取り合い勝ちとつた県大会の出場権
 夏の夜エアコンはまだ大丈夫節約しても結局つける
 悔しいな海外派遣落ちたけど気持ちきりかえ頑張ろう
 地区予選決勝戦で競っていてファールのし過ぎで退場処分
 ただ一つ思い信じた仲間の声が今は無数の勇氣に繋がる
 窓の外花びら舞って桜色春のおわりと夏のはじまり
 土煙宙に舞わせて飛び込んだ捕った一瞬勝負の針路
 いざ本番緊張してきて足が震える客は真剣それがプレッシャー
 釜石の波打ち際の大波に全身濡れて後悔の波
 静けさに張り詰める空氣息を呑む託された希望手にして走る
 深呼吸ペアと一緒に願う勝利コートへ入り最初のサーブ
 息を飲むスパイクはいて音を待つ「つらい」は一瞬悔いは一生
 勝ち取った失敗だらけでも今は繋がるバトン繋がる想い
 休み時間練習してきた大縄で息を合わせて勝てますように

花巻北中学校	二年	藤田 咲耶
花巻北中学校	二年	宮澤 花帆
花巻北中学校	二年	渡部 心春
花巻北中学校	二年	高橋 にな
花巻北中学校	二年	佐々木悠成
花巻北中学校	二年	福井 梨沙
花巻北中学校	二年	小原 瑠徠
花巻北中学校	二年	北條愛耶音
花巻北中学校	二年	須貝ここみ
花巻北中学校	二年	右京 悠太
花巻北中学校	二年	高橋ゆりな
花巻北中学校	二年	八重樫冬莉
花巻北中学校	二年	長岡 陽咲
花巻北中学校	二年	上川 結芽
花巻北中学校	二年	小松 來電
花巻北中学校	二年	小原 蓮
花巻北中学校	二年	三國 暁乙
花巻北中学校	二年	村木 理乃
花巻北中学校	二年	八重樫星菜
花巻北中学校	二年	高橋 愛尊
花巻北中学校	二年	栗山 優蘭
花巻北中学校	二年	折居 花歩

試合前に動けるようにとアップする心の中は緊張と決意

演奏し銀賞だけど叶えられ県大会に部員みんなで！

ソフトテニスここでやらなきや誰がやる一球入魂スマッシュボール

打席立つ緊張するけどバット振る無心で走る笑顔は大事

寒い中熱き思いを胸に秘め兄と二人で頂点目指す

リベロではじく姿がなさけない挑戦だから次は負けない

風呂あがり脳がクラクラせんぷうきあたりながらの麦茶はうまい

花巻北中学校 二年 塩釜 暖人

花巻北中学校 二年 木村 和平

花巻北中学校 二年 高橋 優澄

花巻北中学校 二年 高橋 朔人

花巻北中学校 二年 加藤 咲来

花巻北中学校 二年 菊池 未徠

花巻北中学校 二年 高橋 美羽

令和七年度花巻市民芸術祭第十九回文芸大会

「俳句」

中学生の部

奨励賞

幸せを空でつないだ天の川

湯口中学校 三年 鈴木 彩華

春風が窓からそつと本めくる

花巻北中学校 三年 小野寺 碧花

暗闇であんどん映える夏まつり

大迫中学校 三年 佐々木 珠莉

たんぽぽがわたげになってたびにでる

花巻北中学校 三年 藤原 幸暉

田んぼ道稲の香りがジンとくる

花巻北中学校 三年 小川 剛

入選

大畑 善昭 選

甲板の風が涼しい水上バス

湯口中学校 三年 泉田 紗那

劇団四季暑さ忘れて見る演技

湯口中学校 三年 梅木 統哉

隅田川船にすず風ふいてくる

湯口中学校 三年 小山田 怜叶

東京はせみの声までデカかった

湯口中学校 三年 藤原 湊

たんぽぽがわたげになつてたびにでる
 春風が窓からそつと本めくる
 ポラリスよ雪に混じりて輝けり
 田んぼ道稲の香りがジンとくる
 狼の夜の遠吠え満月だ
 暗闇であんどん映える夏まつり

佐々木 みき子

選

劇団四季暑さ忘れて見る演技
 夏の雨博物館までダッシュする
 幸せを空でつないだ天の川
 汗かいて戦いきつた県大会
 たんぽぽがわたげになつてたびにでる
 春風が窓からそつと本めくる
 夏祭り遠くに聞こえる太鼓の音
 自転車でトンボ追い越す帰り道
 海遊びいつの間にかの小麦肌
 どこからか窓開け寝れば鳴く蛙

花巻北中学校 三年 藤原 幸暉
 花巻北中学校 三年 小野寺 碧花
 花巻北中学校 三年 米川 美莉
 花巻北中学校 三年 小川 剛
 花巻北中学校 三年 石黒 藍子
 大迫中学校 三年 佐々木 珠莉

湯口中学校 三年 梅木 統哉
 湯口中学校 三年 小野寺 一颯
 湯口中学校 三年 鈴木 彩華
 湯口中学校 三年 野田 久侑杜
 花巻北中学校 三年 藤原 幸暉
 花巻北中学校 三年 小野寺 碧花
 花巻北中学校 三年 清水 李桜
 花巻北中学校 三年 稗貫 希
 花巻北中学校 三年 佐藤 茉奈
 大迫中学校 三年 石ヶ森 佑葵

畠山 濁水 選

さざ波を受けて涼しい隅田川
 幸せを空でつないだ天の川
 たんぽぽがわたげになってたびにでる
 田んぼ道稲の香りがジンとくる
 はるのまちいつかみおくる子のせなか
 山笑う神楽の面に光さす
 山あいの風に揺れおる葡萄棚ばこ
 地に落ちた蟬の最後の悪あがき
 ふらふらと狐がよぎる宵の庭

安部 克詠 選

こちよい水上バスの夏の風
 ひぐらしの声はきこえるどこにいる
 日焼け跡夏の思い出語りけり
 田んぼ道稲の香りがジンとくる
 渡り鳥ただひたすらに目指す場所
 ひらひらとまつ毛の先に雪落ちる
 夏祭り笑顔あふれる人の波
 はるのまちいつかみおくる子のせなか
 山あいの風に揺れおる葡萄棚ばこ

湯口中学校 三年 佐々木 奏
 湯口中学校 三年 鈴木 彩華
 花巻北中学校 三年 藤原 幸暉
 花巻北中学校 三年 小川 剛
 花巻北中学校 三年 伊藤 理仁
 大迫中学校 三年 齊藤 優心
 大迫中学校 三年 齊藤 優心
 大迫中学校 三年 佐々木 直
 花巻北中学校 三年 齊藤 百華

湯口中学校 三年 梅木 統哉
 湯口中学校 三年 小山田 怜叶
 花巻北中学校 三年 吉田 芽生
 花巻北中学校 三年 小川 剛
 花巻北中学校 三年 多田 陽亮
 花巻北中学校 三年 高橋 心音
 花巻北中学校 三年 大川 陽咲
 花巻北中学校 三年 伊藤 理仁
 大迫中学校 三年 齊藤 優心

光るのは星か蛍か夜の空

武田 稲子 選

暑さ忘れデイズニ入場走り出す

幸せを空でつないだ天の川

静寂に打ち上げ花火木霊する

天の川気持ちはいまだ夢の国

かき氷内緒で食べたあの神社

春風が窓からそつと本めくる

薫風と私の音色の二重奏

夏祭り笑顔あふれる人の波

梅雨真近俳句が詠めず悪夢見る

玉の汗次こそシャトル決めてやる

高橋 和枝 選

ひぐらしの声はきこえるどこにいる

幸せを空でつないだ天の川

夕焼けの田んぼに響く虫の音

とりあえず冷房きかせてがんばろう

汗かいて戦いきった県大会

大迫中学校 三年 高橋 幸佑

湯口中学校 三年 小原 爽

湯口中学校 三年 鈴木 彩華

湯口中学校 三年 鈴木 彩華

湯口中学校 三年 多田真之介

湯口中学校 三年 畠山 愛瑠

花巻北中学校 三年 小野寺碧花

花巻北中学校 三年 寺林 瑠泉

花巻北中学校 三年 大川 陽咲

大迫中学校 三年 伊藤 悠哉

大迫中学校 三年 藤原來風也

湯口中学校 三年 小山田怜叶

湯口中学校 三年 鈴木 彩華

湯口中学校 三年 多田真之介

湯口中学校 三年 中村 理雄

湯口中学校 三年 野田久侑杜

ホテルから出たその暑さ半端ない
 東京は夜も暑くて寝苦しい
 冷茶ふれ赤らむほっぺじんとする
 炭酸と星降る下で過ぎる時
 泡はじけ刻む秒針終わらないで
 秋風やもつといたいと夢の国
 夏の夜ホテルの部屋はにぎやかだ
 暑さしのぎさけび楽しみ夢の国
 暑い中水上バスであたる風
 夏の夜の火花散りゆくこの一瞬
 東京はせみの鳴き声聞こえない
 熊が出てさわがしくなる里の夏
 博物館冷房きいてひと休み
 猛暑日に水上バスで川下り
 アイス食べデイズニードこをまわろうか
 暑かった大吉引いた靖国で
 夏野菜冷やしておいしいミニトマト
 清涼感びしょぬれMAXスプラッシュ
 東京にも涼しい風が吹いてきた
 ホテルから夕焼け高層ビルに映え
 食べすぎて舌がまっ青かき氷
 夏の夜ホテルで三人騒がしい

湯口中学校	三年	久保田敦仁
湯口中学校	三年	久保田敦仁
湯口中学校	三年	久保田陽まり
湯口中学校	三年	久保田陽まり
湯口中学校	三年	久保田陽まり
湯口中学校	三年	佐々木 奏
湯口中学校	三年	佐々木優帆
湯口中学校	三年	佐々木優帆
湯口中学校	三年	佐々木優帆
湯口中学校	三年	鈴木 彩華
湯口中学校	三年	高野橋桜介
湯口中学校	三年	高野橋桜介
湯口中学校	三年	高橋 昂希
湯口中学校	三年	高橋 昂希
湯口中学校	三年	高橋 知絃
湯口中学校	三年	筑後 奏真
湯口中学校	三年	筑後 奏真
湯口中学校	三年	中村 理雄
湯口中学校	三年	中村 理雄
湯口中学校	三年	野田久侑杜
湯口中学校	三年	畠山 愛瑠

炎天下苦手なあの子泣いてんか
 チョコフォンデュ腹くるしいのに6周目
 猛暑日やクーラーガンガンバスの中
 水上バス青葉一つない隅田川
 水上バス前髪台なし南風
 帰り道岩手と違い熱帯夜
 夏の夜目を輝かせ見る花火
 あと二分急いで食べるかき氷
 風鈴がチリンチリンと涼を呼ぶ
 熱帯夜涼しいところでねつたいや
 旅の夜なかなか寝れぬ熱帯夜
 夏休みみんなで外へ夕涼み
 風呂あがりサイダー飲んで涼む夜
 夏休み家族でごはんバーベキュー
 東京はせみの声なしでも暑い
 セミの声夏の始まり告げる声
 南風夏のおいがかおくる
 霧かかり帰りの新幹線は秋
 冷房の風あたらないベット位置
 風鈴の音聞きながら寝ころがる
 ハロウインはおばけどんすか踊りだす
 靖国でまだまだやまぬせみの声

湯口中学校	三年	畠山	蒼生
湯口中学校	三年	畠山	蒼生
湯口中学校	三年	畠山	蒼生
湯口中学校	三年	畠山	光琉
湯口中学校	三年	畠山	光琉
湯口中学校	三年	畠山	光琉
湯口中学校	三年	畠山	眞佳
湯口中学校	三年	畠山	眞佳
湯口中学校	三年	平賀	郁斗
湯口中学校	三年	平賀	郁斗
湯口中学校	三年	平賀	樹
湯口中学校	三年	平賀	樹
湯口中学校	三年	平賀	樹
湯口中学校	三年	平賀	成美
湯口中学校	三年	平賀	成美
湯口中学校	三年	平賀	雪奈
湯口中学校	三年	平賀	雪奈
湯口中学校	三年	藤原	湊
湯口中学校	三年	松下	朱里
湯口中学校	三年	松下	朱里
湯口中学校	三年	宮川	芽久

炎天下暑さも忘れ夢の国
 炎天下紫外線予防し忘れた
 立秋でそろそろ秋刀魚がうまくなる
 猛暑日の外の気温に耐えない
 春の色部屋にしみ入るすきま風
 青い空鼻孔に漂う塩の風
 桜散る声なき別れ風に舞う
 夕立や去った空には夜の空
 ゆらゆらと桜の花びらふりつもる
 楽しみだそろそろ来るで夏休み
 寒いけどクリスマスあつてあたたまる
 春の時食べるといえば桜餅
 開けた窓熱と涼しさまじりあう
 早朝の白鳥が行く雪景色
 夏の夜虫暑いけどがまんする
 夏祭り打ち上げ花火きれいだな
 夏至の夜外で響き渡る虫の声
 どこまでも笑顔で照らすひまわりが
 雨上がり夏真つ盛り暑き日かな
 夕焼け空かごもつて走る空
 涼しい部屋布団にくるまりアイスもつ
 子どもたち五月雨の中跳び回る

湯口中学校	三年	宮川 芽久
湯口中学校	三年	山下 柊哉
湯口中学校	三年	山下 柊哉
湯口中学校	三年	山下 柊哉
花巻北中学校	三年	千葉 創士朗
花巻北中学校	三年	佐々木 咲空
花巻北中学校	三年	佐藤 大晟
花巻北中学校	三年	藤原 愛斗
花巻北中学校	三年	長谷川 吾央
花巻北中学校	三年	八重樫 乙哉
花巻北中学校	三年	照井 大愛
花巻北中学校	三年	神山 遥翔
花巻北中学校	三年	杉本 詠
花巻北中学校	三年	昆野 優叶
花巻北中学校	三年	熊谷 唯翔
花巻北中学校	三年	井手 凜々香
花巻北中学校	三年	阿部 倖大
花巻北中学校	三年	佐藤 夢真
花巻北中学校	三年	藤戸 悠蒼
花巻北中学校	三年	佐々木 楓夏
花巻北中学校	三年	鎌田 愛結
花巻北中学校	三年	田中 華音

祭りの日いいよこいと遊ぶかな
 雪降る日そんなときにはこたつむり
 あさがおよ夢の中にもほほえんで
 静かに風鈴の音聞こえてくる
 山の中拾ったどんぐり秋の思い出
 家の中暖かいけど隙間風
 桜の木祖父との時間思い出だ
 雪だるま見つけは壊す帰り道
 白い息気づけばそこに雪景色
 マフラーを編んであげるよ友人に
 初詣新年はじめの願い事
 晴れの夜夜空を見あげ大三角
 風ふわりりんとなびけば涼しけり
 夏休み課題したいがゲームしよ
 闇の中光芒包まれ友の声
 風が吹き風鈴の音響かせる
 満月の輝く夜に照らされて
 白い日の庭に発生雪だるま
 夏の空見上げてみると天の川
 寒い夜雪と輝く大三角
 河川敷夜空を見上げ星涼し
 夏の夜音と共に咲く花火

花巻北中学校	三年	白石 隼佑
花巻北中学校	三年	白石 隼佑
花巻北中学校	三年	早野 康太
花巻北中学校	三年	宇佐美 輝
花巻北中学校	三年	伊藤 磨生
花巻北中学校	三年	高橋 紘佑
花巻北中学校	三年	寒川 未唯奈
花巻北中学校	三年	加藤 現
花巻北中学校	三年	伊藤 えれな
花巻北中学校	三年	菅原 莉緒
花巻北中学校	三年	及川 来虎
花巻北中学校	三年	近藤 大雅
花巻北中学校	三年	坂本 美来
花巻北中学校	三年	高橋 奏人
花巻北中学校	三年	佐々木 愛実
花巻北中学校	三年	浅沼 琉稀
花巻北中学校	三年	田中 姫和
花巻北中学校	三年	阿部 楓
花巻北中学校	三年	菅原 郁哉
花巻北中学校	三年	千田里緒菜
花巻北中学校	三年	岡野 陽民
花巻北中学校	三年	中島 愛瑚

一面が桜でいっぱい美しい
 音響く窓から身を出し花火見る
 冷めた気と残暑を共に味わって
 雪の朝白い世界に孤独かな
 雪合戦顔にぶつけて怒られる
 まちわびたそろそろくるぞ新学期
 冬の朝霧でつまれ街見えず
 卒業式花束渡すまたいつか
 下校中散りゆく桜綺麗かな
 針をだしぶかぶか泳ぐ海月かな
 しゃぼん玉はるか高くに飛んでゆけ
 りんりんと風鈴かすかに聞こえけり
 天の川二人が出会う恋の川
 よーいドン我が割りたいスイカ割り
 夏草や風中を行くひと足り
 山頂に静かに残る白い雪
 桜舞い音も静かな田舎道
 夜の空花火とともに咲く満月
 桜色背中に夢がつまっている
 ふと上を見上げてみたら青い海
 冬の夜電気を消すと窓光る
 テレビ見る気づけばすでにアイス溶け

花巻北中学校	三年	伊藤 紅愛
花巻北中学校	三年	佐藤 美来
花巻北中学校	三年	土岐 一颯
花巻北中学校	三年	小向 柑南
花巻北中学校	三年	高橋 愛
花巻北中学校	三年	畠山四季路
花巻北中学校	三年	小山 雄大
花巻北中学校	三年	藤原 莉奈
花巻北中学校	三年	伊藤由羽太
花巻北中学校	三年	田中いづみ
花巻北中学校	三年	菊池 莉心
花巻北中学校	三年	宮崎 夏帆
花巻北中学校	三年	畠山 かな
花巻北中学校	三年	高橋 歩花
花巻北中学校	三年	河内 希彪
花巻北中学校	三年	佐々木羽海
花巻北中学校	三年	伊藤 武琉
花巻北中学校	三年	中島 希
花巻北中学校	三年	千田 華音
花巻北中学校	三年	垣地 壮佑
花巻北中学校	三年	高橋 樹
花巻北中学校	三年	多田 康佑

桜色期間限定金儲け

蚊のように食べもの求め体張る

桜色地面に落ちる花びらが

小春日和澄んだ空気に空仰ぐ

澄み渡る初夏の空気と歌声と

浦風が群青の海へ誘いこむ

蛍舞うあぜ道の中に流れ星

バトン持ち暑さ忘れて体育祭

さむくなりゆらりと舞い散る楓の葉

冬の朝赤の広場は雪の色

夏祭り人がいっぱい楽しいな

吹雪の日赤の街中もねけの殻

夏祭り花火の光で君探す

過ぎてゆく夏のイベント楽しいな

夏夜には星輝いて美しい

木の葉落ち冬を感じる季節だな

春がない暑すぎるつぽ温暖化

ひまわりよ夕日をバックに照らされる

夏休み勉強励む受験生

神宿る大迫に舞う面と笛

朝起きてまどを開けると息白し

春風が吹くと同時に花の匂い

花巻北中学校 三年 佐藤 優樹

花巻北中学校 三年 佐藤 希愛

花巻北中学校 三年 田中 春樹

花巻北中学校 三年 小原えみり

花巻北中学校 三年 大平ひかる

花巻北中学校 三年 大平ひかる

花巻北中学校 三年 大平ひかる

花巻北中学校 三年 加藤帆乃香

花巻北中学校 三年 伊藤 理仁

大迫中学校 三年 阿部 祥吾

大迫中学校 三年 阿部 祥吾

大迫中学校 三年 阿部 祥吾

大迫中学校 三年 石ケ森佑葵

大迫中学校 三年 石橋 明弓

大迫中学校 三年 石橋 明弓

大迫中学校 三年 石橋 明弓

大迫中学校 三年 小野 関馬

大迫中学校 三年 小野 関馬

大迫中学校 三年 小野 関馬

大迫中学校 三年 齊藤 優心

大迫中学校 三年 佐々木珠莉

大迫中学校 三年 佐々木珠莉

熱かりし空に轟く蟬の声
 さきほこるひまわり畑早池峰の地
 花芽生え鳥のさえずり雪解けに
 星の下子鹿現れ通せんぼ
 幼き日なぜか集めたせみの殻
 春終わり曲を奏でる虫の声
 雪解けの水が滴る早池峰
 窓の外やわらかな風桜舞う
 雪の華天からふったおくりもの
 なつまつりカメラじゃなくてわたしみて
 星輝るあなたと歩く夏祭り
 鶯やなき声響く朧月
 早池峰の頂に咲くウスユキソウ
 光る星願いを込めて七夕に
 外に出てさあ出かけよう息白し
 夜の街あんどん祭りでにぎやかに
 葡萄食べ故郷思つて帰省かな
 お正月私が欲しい諭吉さん
 ぶどうはねゼリーにワイン自由自在
 春の日に冬去つた君と会いたいよ
 髪切つて心機一転一学期
 ふいに吹く涼しい風に酔いしれる
 夕焼けの黄昏色に心魅かれ

大迫中学校	三年	佐々木春輔
大迫中学校	三年	佐々木春輔
大迫中学校	三年	佐々木春輔
大迫中学校	三年	佐々木直
大迫中学校	三年	佐々木直
大迫中学校	三年	佐々木遥斗
大迫中学校	三年	佐々木遥斗
大迫中学校	三年	佐々木真世
大迫中学校	三年	佐々木真世
大迫中学校	三年	佐藤蒼眞
大迫中学校	三年	佐藤蒼眞
大迫中学校	三年	高橋幸佑
大迫中学校	三年	高橋幸佑
大迫中学校	三年	遠山莉央
大迫中学校	三年	遠山莉央
大迫中学校	三年	遠山莉央
大迫中学校	三年	藤田凜花
大迫中学校	三年	藤田凜花
大迫中学校	三年	藤原友梨佳
大迫中学校	三年	藤原友梨佳

令和七年度花巻市民芸術祭第十九回文芸大会

「詩」

中学生の部

照井 良平 選

牛崎 敏哉 選

奨励賞

えんぴつ

大迫中学校 一年 伊藤 舞夏

今日も大活躍 国語に算数さらには英語
たくさん仲間と一緒に 一つの箱に入れられて
宿題にも使ってもらう

今日は箱の中 最近の外に出られていない
また使われる日が来るように ずっと待つ
シャーペンはいいいな 軽くて書きやすい

今日も大活躍 明日から初めての小学校
もつともつと使ってもらいたい

身長は小さくなったけど まだまだ書くぞ

花火の夜

湯口中学校 一年 佐々木 愛莉

私には

光に見える

花火は

花のように

咲く

そして

ちつてゆく

ちつてゆく

花火は

かげのように

うすく

空にのこる

輝く月

花巻北中学校 一年 福地 優花

昼

散歩をしていると
ふと空を見上げる
満月が輝いている
太陽に負けず
私たちにささやくかのように
笑みを浮かべている
そんな月に思わず口が笑う

あさがお

湯口中学校 一年 高橋 咲陽

朝、あさがおが咲いた。
台所から見えた、あさがお。
太陽がのぼると、セミがなきはじめた。
げんかんから、
「ピーンポーン」とベルがなる。
おとなりさんだ。
おとなりさんは、あさがおを見ただろうか。
おとなりさんは、スイカを持ってきてくれた

スイカのお礼に

あさがおが咲いたことを教えた。

あさがおはしぼんできた。

夜のおやつ

花巻北中学校 一年 小原 真子

大きな真つ黒い空の上に
小さい飴玉が散らばっている

黒い雲がやってくる

ゆつくり飴玉を飲み込んでいく

雲がその場でねころんで

空の光が消えていく

筆箱のなかみ

大迫中学校 一年 吉田 茉叶

たくさん使われてうれしいな

ただ相棒もつかれたのか 少しずつ減る

自分も少しずつ短くなった

そのうち新しい仲間も入ってくる

ぼくは束の間の休息に「ホッ」とした

参加作品 中学生の部

スマホ

大迫中学校 一年 伊藤 心愛

わたしたちは いつもスマホを見ている

ずっと見ている 夜おそくまで

何をしてても

どこに行っても

必ずスマホを持ち歩く

スマホをずっと

見ていると

言われたことを忘れて

親におこられる

暗いところで

ずっと

見ていると

目が悪くなる

地球

大迫中学校 一年 伊藤 莉央

まわっている

ずっと ずっと

まわっている

ぼくがまわるのが止まらないのは

なんだろう

まだまだ

まわっている

止まることなく

消しごむ

大迫中学校 一年 伊藤 龍士

ぼくたちは まいにちみんなささえてる

文字を消している 体が少しずつけずられる

夜や休み時間は一つの箱に入れられる

そして授業時間になり また体がけずられる

ぼくたちは 授業でしか使われない

一つの箱のなかに入れられる一つの箱の中は

とてもひまだ

それから授業のときもどってくる

それからぼくはいなくなつたけど

それでもたのしい日々だった

ラケット

大迫中学校 一年 梅澤 夢歩

今日も部活で使う

球やシャトルをうつ そして役立つ

練習で使つていくうちに

ガットがきれる

ガットがきれると新しいラケットを買う

強くなつていくうちに

いいラケットになる

中学・高校で使う

花火

大迫中学校 一年 佐々木 柊

ドーン、ドーンと音をたてる大きな花
広くて暗い空のお庭に ぱつと咲く
すぐにかれてしまう でもまた違う花が咲く
一輪の花 時にはきれいで大きな花束に
姿を変えて また現れる

季節が変わると もう咲かない
さびしいけれど きつとまた見れる
あのきれいな花 次は何色になるのかな
次に見れるのは 次の暑くなるころ

ともだち

大迫中学校 一年 佐々木 莉子

ぼくたちは いつも仲良くしている
毎日友達としゃべっている 勉強を教え合い
ただただ楽しく学校生活をおくっている

みんなで楽しいことをしたり 笑ったり
そういう毎日を過ごしている

卒業までたくさん思い出をつくる

おかね

大迫中学校 一年 佐藤 皇樹

ぼくたちは まいにち日本中をりようしている
だれかがつかうとまただれかへ
冬になるとふうとうに入れられて
子供たちへくばられる

ぼくらは毎日どこかへりようしている

次はどこにいくのかな

けしごむ

大迫中学校 一年 佐藤 菜々子

ぼくたちは えんぴつといっしょにいる

ぼくたちは 何かをかくことは
できないけど えんぴつも

何かをけすことは できない

ぼくたちは 二人で支え合っている

ぼくたちは みんなに 毎日
つかってもらう

最後は消えてしまうけど

それがうれしい

鉛筆

大迫中学校 一年 志田藤 蓮斗

ぼくたちは、使われることがおおいから、仕事がいっぱい、おもに小学生に、みんなをささえないといかない。

ぼくたちは、けずらないと使えない、めんどくさいしれないけど、使ってくれたらそれでいい。

ぼくたちは、芯が折れる事もあるけれど、とがっていが、使って短くなるけれど、それでも、使ってほしい。

ただただ使ってほしい。

ぼくたちのやくめが無くなる、みんなが卒業するんだ、中学校に行ったらぼくらは使われなくなる、みんながあまり使ってくれなくなるけど、いままで使ってくれてありがとう。

せんぶうき

大迫中学校 一年 関田 晴

ぼくたちは いつも風を送っている

ただただ風を送っている 夜は使わない

ぼくたちしかない そしてあさまた回る

夏冬みんなは こない

だから さみしい

だけど もどってくる

春になったら みんな卒業する

けれども新しい人が入ってくる

ぼくたちは ずっと回る

いきている

大迫中学校 一年 多田 陸翔

ぼくたちは いつも いきている
いたみをかんじたり たのしいとかんじたり
かなしいとかんじたり くるしくかんじたり
そんなとき いきているとおもう
みんなは どんなときに
いきているとかんじるだろう

スタブロ

大迫中学校 一年 丹野 紬月

練習のとき 大会本番のとき
いつもきんちようしてるみんなを
支えているよ
シーンと静かになり、
スタートの音になる
そして、みんな私からはなれて
ものすごい速さでかけぬけてゆく
みんながゴールに着いたとき
また違うみんなが

私を使ってくれる

みんなの黒板

大迫中学校 一年 橋本 詩

ぼくはたのしいみんなと一緒にじゅぎょうを受けている時
ぼくはかなしいみんながケンカしたりおこられている時
ぼくはうれしいみんなが仲直りしたりほめられている時
ぼくはさびしい みんなとおわかれする時

そしてまた新しい友達と一緒にべんきょうをする

あり

大迫中学校 一年 藤館 心咲

わたしのまわりにはでかいものばかり
人間が食べたポテトチップスのはへんでさえ
みんなで運ばないといけない

人間の足にふみつけられて　しんでしまう
小さいから
でもみんなと一緒に生きたい
だから今日も食べ物をさがす
一生懸命に

大迫の町なみ

大迫中学校　一年　藤原　拓

ぼくらみんな自然や大地と共に生きている
そして生きものと共に生きている
大迫は自然とかかわり人々ともかかわっている
大迫はお祭りがいっぱいだ
とてもにぎやかで最高だ
今日も学校はにぎやかだ
普段とかわらぬ町なみはとてもきれいだ
やっぱり自分の町は最高だ
やっぱりかわらない大迫を守りたい
そしてみんなに町の良い所をおしえたい
そしてやさしい大迫の人々と今日も話をする
これからもたくさんの人達と大切な町を守りたい
みんなの幸せをみんなであやしていきたい

それが大迫の大好きな所だ^{ところ}

バドのしあい

大迫中学校　一年　藤原　澤

わたしは　バドがすき
とくに
しあいだ
スマツシュ　きめる
それはきもちいい
しあいで
かつとうれしい
でも
まけたらかなしい
でも
かつても
まけても
つぎのしあいにむけて
れんしゅう
かんばる

あついけど

大迫中学校 一年 堀田 鳳雅

夏はいつもあつい

雨もふるむしあつい

あついけど夏には楽しみもある

プールに夏休みスイカ割り

夏休みにはみんなで遊ぶ

あついけど

楽しみたいくさん夏休み

太陽

大迫中学校 一年 山影 和祈

ぼくたちは いつも どこかで

みんなをささえている

まいにちあいさつされる

いつもだれかがいる

そして新しいところへ

あいさつをとどけにく

ぼくたちは いつもつながっている

せかいじゅうのみんながてをつなぐ

てをつなぎささえあう

みぎやひだりには いつもだれかがいる

そんなせかいを ぼくはみたい

こくばん

大迫中学校 一年 若柳 佳真

わしやこのきょうしつになんねんいたことが

まいにちをこどもたちとすごしている

はるからふゆにかけてふうけいはかわらない

いつまでこのふうけいがつづくのかな

空

湯口中学校 一年 芦澤 希

空はいつもちがう顔をしている

空が泣いていると

私も暗い気持ちになる

空が笑っている

私も明るい気持ちになる

空はときどき

やさしい顔でいやしてくれる

誰かの笑顔のために

私も笑っていたい

月地球太陽

湯口中学校 一年 伊藤 龍之介

うわっ もつとゆつくり出てよ 太陽さん

すまんすまん 忘れてたよ

今日は月さん遅いね

そうだね

ふわっ ごめんちよつと寝坊しちゃった

よし じゃあ今日もいっぱい回るぞ

おー

グローブ

湯口中学校 一年 金澤 凜斗

ぼくはいつもボールを取っています

ゴロが来た。

とても速いぞ気をつけろ

ひくいいちでかまえろ

ナイスキャッチ

フライがきた

とてもたかいぞ

落下地点に入れ

ナイスキャッチ！

優勝した！

毎日

湯口中学校 一年 神山 結大

朝起きて

朝ごはんを食べて

学校に行つて

授業を受けて

当たり前だけど

でも、

幸せな毎日

だから今日もう

「行つてきます。」

大切な人

湯口中学校 一年 久保田 望心

あなたが笑うと

私の心に

明るく温かい

光が差しこんでくる

あなたがいるから

私は毎日

笑顔になれている

あなたは

私の笑顔の源だ

空

湯口中学校 一年 久保田 遥花

いつもみんなのことを優しく見守っています
雲とずっといつしよにいます

たまにいないときがあつて少しさみしいです

ときどき機嫌が悪くなるけど氣をつけてね

今日もみんなのことを上から見守っています

卵

湯口中学校 一年 齊藤 颯良

僕をやいちやうと元にもどれない

犯罪のように

僕が生きているのか死ぬのかは自分で決めれない

犯罪のように

僕はこの子を救いたい

自分の栄養と味で

翼

湯口中学校 一年 佐々木 愛莉

私には
翼がある
どんな未来にも飛べる
翼がある

私は未来に
繋がる翼を
大きく広げ
飛び立つてゆく

季節

湯口中学校 一年 佐々木 愛莉

花が咲き
心に光がともる春
心が炎のようにもえる夏
心がゆつたりみのる秋
心も体もまるまる冬
そしてまた花が咲く

あじさい

湯口中学校 一年 佐々木 愛莉

あじさいは
いつもどこかで
泣いている

ときには
明るく
さわやかに
かがやいて
元気を
あたえる

ぼくは猫

湯口中学校 一年 佐々木 愛莉

ぼくは猫
ぼくは
散歩する
ぼくは

遊ぶ

ぼくは
食べる

ぼくは
おどろく

ぼくは
おこりながら
ひっかく

ぼくは
あわてて
走る

ぼくは
かえつてきた

そして
また

いつもどうり
ねむりにつく

雲

湯口中学校 一年 佐々木 うた

私はいつも 浮かんでいます。
私はいつも すすんでいます。
風に吹かれて
ゆつくりと ゆつくりと
世界中をめぐりながら

私はいつも 見えています。
私はいつも 感じています。
どこにいても
少しずつ 少しずつ
前に向かっていくひとを

大丈夫
私がいちゃんと
見守ってるよ

ひまわり

湯口中学校 一年 佐々木 千花

高く高くのびゆき
静かに枯れていく
ひまわりのように
花びらの色が変わるまで
美しく咲き尽くす
ひまわりのようになりたい
高く高く美しく

はじまりの音

湯口中学校 一年 佐々木 結奏

沢山の視線が今、向けられている
耳をすまして待つ。フエの音
目線はネットをこえた先
沢山の声援がコート奏でる
緊張感
いよいよ、始まる
無音の世界に音が彩る

名前

湯口中学校 一年 佐々木 結奏

親からもらった
はじめてのプレゼント
この贈りものが
一番の宝物
「結ぶ」
人と人を絆で結び
「奏でる」
大切な人との楽しい思い出を奏でる
私だけの特別なもの

教室から

湯口中学校 一年 佐々木 結奏

授業中
窓から差しこむ光
ふと、見上げた空
体育館の窓ガラスに反射する 空色の景色
ゆうゆうと動く雲
耳をすますときこえる
先生の声
シャーペンを動かす音
教科書をめくる音

私は思う

私達の夢は、この空をはるかに上回るくらいに、
大きいのだと

バスケットボール

湯口中学校 一年 佐藤 光空

ぼくは、いつも人気者だ。

練習の時

みんなぼくをつかってくれる。

試合の時は

みんなぼくをうばいあってくれる。

でも練習が終わると

一人ぼっちになる。

暗やみでみんなをまっている。

はやくみんなに会いたいなあ

オムライス

湯口中学校 一年 清水 颯真

オムライス

さいしよに玉ねぎみじんぎり

次にベーコン切りまして

そのつぎごはんをいためましょう

そしてケチャップかけまして

さいごにたまごでつつみこむ

おまけにパセリをふりかければ

オムライスのかんせいだ

髪の毛

湯口中学校 一年 鈴木 絆愛

ぼくはたくさん髪の毛の中の一本。

いつも乱暴な扱いをされている。

たとえば、髪をあらうとき、

人間からしたら、清潔かもしれないけど、

ぼくたちからしたら地獄の時間なんだ。

仲間が何本も抜けてなくなってしまったんだ、

けどそんなぼくたちにも、
うれしいことがあるんだ。

それはほかの人間から

「髪の毛きれいだね」と言われることだ。

だからぼくは

髪の毛として役目を果たすまで

毎日の地獄をのりこえてがんばるんだ。

おれのスイツチ

湯口中学校 一年 田井 大翔

ぼくはみんなと遊ぶのが大好きだ、でも

コーヒーをこぼされ

ゲームに負けると地面に下され

こわれてしまった

もつとだいに遊んでよ

坂

湯口中学校 一年 高橋 沙和

ぼくは長い長い下り坂。

ぼくの上を自転車が通っていく

ぼくは自転車にあいさつをする。

「おはよう。」

自転車は涼しげに通って行った。

ぼくは長い長い上り坂。

ぼくの上を自転車が通っていく

ぼくは自転車にあいさつをする。

「おかえり。」

自転車は少し疲れ気味だった。

また明日。

天気

湯口中学校 一年 高橋 新奈

笑っているときは

心が晴れて

悩むときは

心がくもり

悲しいときは
心が雨のよう・・・
わたしの心は
いつも天気のように変化する

消しゴム

湯口中学校 一年 高橋 愛珠

僕はいつも机にいる。

ときには、床に落ちることもある。

落ちるときは意外とおもしろいけど少し痛い。

僕には、たくさんの兄弟がいる。

僕のそばからどんなに離れていく。

それがさびしい・・・

僕もすぐそっちに行くからね！

（僕はそっちに行けるのかな）

いつも考えている

それが僕の1日だ・・・

（いつかあえるといいな）

テニスボール

湯口中学校 一年 筑後 結乃

ぼくはいつもコートにいます

部活の時にはなるとみんながぼくをみています

スマッシュは徒競走

ロブは空の散歩

ボレーは鬼ごつこのよう

その時が一番楽しいです

ぼくはいつも転がっています

みんながぼくを探しています

かくれんぼみたいです

その時が一番おもしろいです

ねこ

湯口中学校 一年 照井 香帆

いつもまったり寝ている

日が当たる温かい所で

ぐっすり寝るのが幸せです

世話をしてくれる人がいる

えさをくれて そうじをしてくれる

そしてなにより

遊んでくれる人がいる

その時間が 一番好きです

シャトル

湯口中学校 一年 照井 大晴

サーブは

ねらってやさしく

ラリーは

打ち負けないように

スマッシュは

全力で

そして最後は

ドロップで決める

ピンポン球

湯口中学校 一年 照井 湧吾

ラケットが

ぼくをおしてくれる

さまざまな回転をして

目がまわる

一生懸命

打つてくれると

ぼくは一番爽快です

ラケットが

ぼくを打つてくれる

さまざまな方向に

飛んでいく

楽しく

打つてくれると

ぼくは一番最高です

雪だるま

湯口中学校 一年 峠館 凜

小さな雪のかたまりをつみかさねて

やがて、二つの大きなかたまりができる

小さい手が私を作っていく

温かい日がさし
私は小さくなる

あなたが出かけて行く所を
私はずっと見守っている

消しこむ

湯口中学校 一年 中村 優莉子

みんなが授業を受けているときが出番です。

みんなが勉強を始めると机で見守っています。

みんながぼくを使ってくれるのが
まちどおしいです。

ノートでこすられるのは痛いけど
それがぼくの仕事なのです。

線香花火

湯口中学校 一年 西村 優奈

夜空の下で 小さく光る

太陽のように

時間がたてば 消えていく
しずくのように

消えた瞬間

もう一度見たくなるような

余韻を残して

今年の夏も線香花火のように

はかなく 消えていくのか

地球

湯口中学校 一年 畠山 祐季

地球とは ぼくらがいる

動物がいる 魚がいる

山がある 海がある

火山がある 街がある

大役をまかされているのが

地球だ

地球は

ぼくたちの生命を

守っている

一つの
こうほだ

ぼくらの
生命を守っている

地球に感謝しなければならない

雲

湯口中学校 一年 平賀 結愛

ぼくはいつも空に浮んでいる

太陽とも仲良しだ

でも時々

ぼくは太陽を隠してしまう

ぼくは泣く

空は激しくひかりだす

一晩たつて

ぼくと太陽は仲なお

空は澄み

ぼくは浮かび

太陽は今日も笑っている

空

湯口中学校 一年 藤井 香菜美

どこまでも広い

美しい空のように

広く美しい

心を持ちたい

青空をガラガラと照らす

まぶしい太陽のように

明るく元気な

笑顔でいたい

夜空をキラキラと

輝く星のように

みんなを輝かせる

人になりたい

朝と夜

湯口中学校 一年 藤井 唯牙

あなたはいつも明るいね
朝のように

あなたはいつも暗いね
夜のように

あなたは明るく元気にする
あなたは暗くおだやかにする

明るいという言葉は良い意味にきこえる
暗いという言葉は悪い意味にきこえる

だがすべてが悪い意味とはかぎらない
私も心をふくらませたい。

流れ星

湯口中学校 一年 藤原 優太

夜空を横切り

一瞬でできる

それは時に

人々に感動や笑顔をあたえる

その一瞬に

美しさをあたえてくれる

それは時に

誰が見ていない時でも

何度でも流れ続ける

何度でもあたえ続ける

そのような人に僕はなりたい

スマホ

湯口中学校 一年 山形 琉斗

今日も動画を

映しています。

見る人

目がつかれています。

正しい情報を映すのが

仕事です。

いつも人のぬくもりを感じられて
ぼくはうれしいです。

えんぴつ

湯口中学校 一年 渡邊 晴緋

わたしは かくときに使われます

その人が がんばることで

わたしは なくなっていきます

折れたりもします

そうして けずられると

わたしは また

生まれ変わります

雲

湯口中学校 一年 佐々木 匠斗

雷が鳴って

何かが起こりそうな予感

布団をかぶって
かくれてみた

いつの間にか

雨が上がって

飛行機雲が見えていた

背くらべ

湯口中学校 一年 佐々木 匠斗

畑に行ったら

草がたくさんはえていた

野菜のじやまをする草

「じやまだなあ」

さつま芋が草に向かつて

言っただみたい

草とさつま芋の背くらべ

草の負け

「くやしい」

草の声がしたような気がした

私の名前

湯口中学校 一年 高橋 咲陽

「咲く」って何？

「桜」のこと？

「咲く」も「桜」も春のイメージ

「陽」は太陽

夏のイメージ

なんでだろう？

私が生まれたのは冬

春と夏の秘密が隠された名前

大好きな名前

三原色の森

湯口中学校 二年 岡谷 按実

三原色で絵を描いた

赤は夕日

青は森

黄は光

森に囲まれた

木の上を見る

夕日がすこし見える

ふと、反対側を見ると

何かが見える

ついついおいかけたくなる

まるで水の上の舟のように

キウイ

湯口中学校 二年 岡谷 按実

朝に採った

採りたてのナス

まるでキウイのようだ

キウイはくだもの方ではない

鳥のキウイのように

へたが長いのだ

とうがらしのいろんな姿

湯口中学校 二年 平賀 麻衣

生で食べる。

少し甘くておいしい

きざんでのせてみる。

料理に色どりがでる

粉にしてまぜてみる。

とつてもからい!!

・・・どうしてこんなにも

かわるのだろう

とうがらし

太陽の一日と月

湯口中学校 二年 平賀 麻衣

少し寒い朝に見た

昇ってきたばかりの太陽

暑くなってきた昼に見た

てっぺんに昇った太陽

あたたかい夕方に見た

半分顔を隠した太陽

涼しくなった夜に見た

太陽と交替した月

ねる前に見た

てっぺんにのぼった少し欠けた月

雨空

花巻北中学校 一年 柵山 樹

今日もまた降っている。

雨戸から

しとしと

しとしと

孤独で寂しく

泣いているように

今日もまた降っている。

雨音で

目が目覚める

ぼつぼつ

ぼつぼつ
かたりかけてくるように

今日もまた降っている。

雨脚が

強くなってる

ざあざあ

ざあざあ

いつもの道で傘をさす

今日もまた降っている。

雨風が

ふいている

ごうごう

ごうごう

雨が止むまで雨宿り

七色の光の帯

花巻北中学校 一年 白崎 煉

雷鳴と共に空が光る
ピカーンと

雨がやみ空は晴れ
七色の光の帯が
空にかかっている

ながれ星

花巻北中学校 一年 鹿村 七海

夜に空を見上げてみると
ながれ星が見えた
それはきれいではやい
ながれ星だ

星空の町

花巻北中学校 一年 池田 煌也

日が落ちて 夜が来る
町が静まり返り
家の明かりがつき始める
空でもキラキラと明かりがつき始める
家の中で楽しそうな話声が聞こえてくる
流れ星が何回も何回も降ってくる

まるで空に町が映っているかのように
輝いている

黒い空

花巻北中学校 一年 照井 颯介

黒い空が上に広がっている
黒い空の中に星が光っている
その空は、続いている
どこまでも

青い晴空

花巻北中学校 一年 佐々木 優晋

晴々とした空の青さがぼくの目に移りこむ。
そしてぼくの心も晴々となる。
心の痛みも消えていく。

ブルースカイ

花巻北中学校 一年 小原 永夢

昼間に外に出たら
まるでドラえもんのような
雲一つない心が晴れるような
青空が広がっていた

ある日の帰り道

花巻北中学校 一年 佐々木 温真

隠れていた景色が
一日の終わりを伝えにきたように
きれいなオレンジ色の夕日が現れる
それを見ていると
疲れが取れると同時に
また明日も頑張ろうと思える
そんな夕日が近くにいます

空と僕の心

花巻北中学校 一年 古川 柊

昨日
嬉しいことがあった

空を見上げてみた
青く澄みきつた空
太陽が眩しかった

今日

悲しいことがあつた
空を見上げてみた

うす暗いどんよりとした空
今にも雨が降りそうだ

まるで空は僕の心のようにだ

明日の空はどんなふうに
僕の目に映るだろう

夜空の花火

花巻北中学校 一年 小原 優空

少し暗くなった空。

そこに打ち上がったいっぱいの花火

打ち上がった花火がピカピカ光って見えた

花火は年に一回くらいしか上がることがなく

まるで皆をいやしてくれる

空

花巻北中学校 一年 角掛 美音

帰り道。

私は足をすすめる

空はなみだを流しはじめた

その一つぶ一つぶが頬にあたる

帰り道。

私は足をはやめる

空は悲しかったあの顔を

虹という笑顔に変えた

日の出

花巻北中学校 一年 蔦谷 夏那

朝の空

太陽が顔を出す

海がオレンジ色に染まってい
鳥が朝を迎えに来る
夜が明けて朝になる
今日もまた新しい一日が始まる

空と雲

花巻北中学校 一年 木立 隆陽

学校帰り ふと上を見る
雲一つない夏の空
青く澄み切ったその空で
たった一つの雲が
ゆっくり
ゆっくり
ずっと遠くまで
歩いてゆく

夏の空

花巻北中学校 一年 浅沼 星虎

雲が一つもなく

空がキラキラしている
まるで宝石のように

青い空

花巻北中学校 一年 村野 陽大

青い空
雲一つない空
波一つない
海のように

夜空の親子

花巻北中学校 一年 照井 凱憧

ふと空を見上げると
大きな満月の周りに
小さな星たちが散っている
まるで親子みたいだ

星たちが笑っている
満月は大変そうだ

手間のかかる星たち
それでも
満月は笑ってる

晴天

花巻北中学校 一年 長谷川 莉己

元氣そうに
今日も太陽が燃えている
雲一つない青い空の上で
今日もまた燃えている
たくさんある雲の中で
毎日元気に燃えている

夜空

花巻北中学校 一年 蔦谷 昂志

部活の帰り道に夜空を見上げると
月と星が光ってる
僕はまるで

「お疲れ様」
と言われているような気がした

夏の空

花巻北中学校 一年 君崎 結愛

青い空
ゆらゆら揺れる雲
ギラギラ光る太陽
さらさら流れる風
夏を伝えているような気がする

夕日

花巻北中学校 一年 千葉 里奈

日がゆつくり落ちる時
大きな空を
太陽が赤く染める
日がゆつくり落ちる時
群れになったカラスが

飛び立つ

あの夕日にむかつて

真夏の空

花巻北中学校 一年 小原 一華

真つ青の空に

白い入道雲がそびえ立つ

もくもくとしている大きい雲

あの雲おいしそうだな

ふわふわ

花巻北中学校 一年 八重樫 菜々花

ふわふわ

ふわふわ

飛んでいる

まるでわたあめみたいな雲

ふわふわ

ふわふわ

動いてる

この雲はどこまで行くんだろう

夜の始まり

花巻北中学校 一年 清水 咲愛

青空を

真つ赤に染める

まるで色紙を張り付けたように

考える間もなく

一気に染めて

そして

短い時間だけれど

真つ赤に染まつた空で

世界中に

夜の始まりを伝えている

冬の帰り道の空

花巻北中学校 一年 山崎 悠弥

ある日の帰り道
空を見上げると

雲一つない冬の青い空

暖かい冬のある日

ゆつくりと雲が流れていて

まるで遠くの町まで行くようだ

夏の夜空

花巻北中学校 一年 高橋 紗良

ぴかぴか ぴかぴか

夏の夜空にまたたく星

こつちへおいでと

呼んでいる

さわさら さらさら

夏の夜空を流れる川

涙の音だけ鳴り響く

私はふと外に目をやる

気持ち良さそうに

すべつて

きらきら きらきら

夏の夜空にかがやく月

さようならと

去っていく

雨

花巻北中学校 一年 菅野 心陽

梅雨の季節の五時間目

いつも空は泣いている

じめじめとした教室は

大粒の涙で空は見えない

空はあるのに目には見えない

帰り道

花巻北中学校 一年 留場 陽大

平日、中学校の帰り道空にうつる

りんごのような真つ赤な夕日が

皆をてらしている。

空と船

花巻北中学校 一年 吉田 篤人

見上げると
海のように
青い空

白い船が
うかんでいる

船は
風にゆられて

ゆらゆらと
漂っていく

夏の昼

花巻北中学校 一年 磯田 知穂

夏の昼

暗い気持ちで 歩いてく
雨の強さが 心にしみる

次第に光が 顔を出す
雨残るまま きらきらと

雲も 鳥も 分かつてる
空を合図に 動いてく

やがて 空が 晴れるころ
暗い気持ちも 晴れていく

空はいつでも

花巻北中学校 一年 小野 あおば

空がオレンジに色づく

太陽は沈み

月は輝く準備を始める

やがて空は紺に染まり

月はみんなを照らしている

そして朝になると

太陽が目覚め

空は美しい青になる

空はいつでも

太陽と月と言葉を交わし

私たちを見守っている

空が夕日の時の僕

花巻北中学校 一年 寒川 龍将

夕日の帰り道

駅を出て

家に帰る時

空はオレンジ色になって

きれいな夕日が

僕を照らしている

家につくころには

ほっとした

明るい感じになっていた

家に着いた時には

僕の心は暖かく

僕の気持ち

おだやかになっていた

空と海

花巻北中学校 一年 及川 滯

空が明るいときは、海も明るい

空が暗いときは、海も暗い

空が暗くなり、音をたてなくなったとき

海の音も消えてゆく

夕方の空は綺麗で、海も綺麗

まるで空と海はつながっているようだ。

朝の太陽

花巻北中学校 一年 宇佐美 蔵

皆が起きると

太陽が

海から現れる

そうして
皆の一日を
照らしてくれる

星と満月の夜

花巻北中学校 一年 藤戸 美羽

満月が綺麗
真つ暗な空に
大きな光

星が綺麗
空の周りを
照らしてる

満月と星
真つ暗な空を
照らしてくれる

満月と星のおかげで
真つ暗な空にも
明かりがさす

夏休みの昼の空

花巻北中学校 一年 田中 皇成

夏休みの昼
一人でごはんを食べていると
曇り空から
太陽が顔を出す

夏休みの昼
一人で宿題をしていると
曇り空から
太陽が少し顔を出す

夏休みの昼
一人で昼寝をしていると
顔を出していた太陽が
雲に隠れる
日に日に変わる
空の気気

晴天の青空

花巻北中学校 一年 牛崎 くるみ

朝早く起きると、

窓には日が差しかかり、

外は晴れているのに、

パラパラと雨が降っていた。

空は雲一つなく

晴天の青空、

このまぶしい光は、

今日の始まりの合図だと思った。

太陽は今日もみんなに向かつて、

優しく笑顔で笑っていた。

微妙な天気

花巻北中学校 一年 岡田 結梨

家を出ると空に

きれいな夕日があつた

空がまるで

グラデーションのようだ

でも雨が少し降ってきた

だから空が少し暗いようだ

あまりきれいな

夕日ではなかった

海の夕日

花巻北中学校 一年 牛崎 竜之介

海の空を見ていると

夕焼け小焼けで

まるで炎のように赤く染まつてる

海の空を見ていると

雲一つない

赤く染まつて

やがて暗くなる

太陽

花巻北中学校 一年 佐々木 春輝

暑い太陽が窓の中に差し込んでいる。

まるで炎のようだ

一日の始まり

花巻北中学校 一年 佐藤 翔太

一日の始まり

太陽の光を浴びようと外にでた

街一面が雪に覆われている

雪の間から差してくる

日の光が

人のように話しかけてくる

今日もがんばれと言うように

夕方

花巻北中学校 一年 長島 凌士

帰り道

山から 夕日が

顔を出す。

空一面は

綺麗な

オレンジだ。

空を見てると

なんだか心が

暖まる。

夜空

花巻北中学校 一年 高橋 このか

暗い空が街をおおう

暗い空を月と星がてらす

きらきら きらきら

雲ひとつない紺色の空

それを眺めて太陽の光を

まっている

黒い空に浮かぶ白い雲

花巻北中学校 一年 上平 日向葵

夜

夢を見るとき

電気を消すと

街灯の光で

見える

黒い空に白い雲が

浮かんでいるのが。

太陽と海

花巻北中学校 一年 平賀 恵

太陽が海を照らす。

太陽が消えかけている。

海は太陽を

引きずり込んでいる。

太陽が空から

姿を消す。

毎日、違う時間に。

地面の下で

違う国に

挨拶をしている。

真夏の朝

花巻北中学校 一年 加藤 日南太

朝起きたら

まぶしい太陽がいた

太陽が挨拶をしているように感じ

僕も挨拶をした

雷

花巻北中学校 一年 伊藤 陽真

雷が鳴っている

まるで新幹線のような速さだ

夕日と心

花巻北中学校 一年 菊池真友里

しずんでいる

夕日が

山奥で

街全体が 自分自身が

夕日で

赤く

染まっている

街も

自分の心も
あたたかい。

真夏の夜

花巻北中学校 一年 阿部 優月

夜の空

見上げると遠くの空に

満天の星

星座がたくさん

夏の大三角

太陽

花巻北中学校 一年 高橋 朋希

とてもきれいに

輝いている空

ただ太陽がしずむと

暗くなる

太陽が世界を
灯しているようだ

夕方の空

花巻北中学校 一年 袋主 琥珀

遊び疲れ歩いていると

一つの水たまりがある

その水たまりから

綺麗なオレンジ色の空が

浮かんでいる

上を見てみると

綺麗な夕方が

どこまでも続いている

日没

花巻北中学校 一年 小菅 文優

太陽よ

なぜそんなに怒っているのだ

月と星が東の方から上ってきているからか

朝がくればまた上ってこれるさ

月よ

なぜそんなに楽しそうに光っているのだ

もうすぐ太陽がいなくなり

自分だけが輝けるからか

また朝が来れば太陽も上ってくるさ

晴れの空

花巻北中学校 一年 高橋 菜緒

一人の少女が空を見る。

空はきれいな青

雲がすきとおる

少女は空に向かって

手をのばす。

朝の空

花巻北中学校 一年 藤城 大我

朝に空を見上げると

ギリギリと光る太陽が

あたたかな腕を伸ばして

僕の心を照らしている

冬の空

花巻北中学校 一年 福地 清香

この世界が真っ白に染まるとき

空から白い綿が降ってくる

暖かい手で

やさしく包むと

気づけば手からなくなっている

落ちつく時間を

空が作ってくれたみたいで

少し幸せな気持ちになる

青空

花巻北中学校 一年 篠原 日馬

雲一つない青空
あままるで絵の具のようだ

やさしい太陽

花巻北中学校 一年 高橋 陸

太陽が雲を押し退ける
太い腕で押し退ける
薄暗い街の道を
光が明るく染めていく

星と月

花巻北中学校 一年 佐藤 未呼

季節が夏から秋へと変わる頃
涼しい風が吹き始める夜

夜の暗闇が照らされる
上から何かが照らしてくる

上を見上げれば宝石が
きらきらと。きらきらと。

小さな星と大きな月

花巻北中学校 一年 北條 和心

夜十二時
星が目を覚ます
星が寝ぼけながらふわふわと浮いている

星が流れ星のようにはしゃいでいると
大きな月が星達にほほ笑みながら
優しく光を分けている

空がオレンジから青へと変わるにつれ
星は寝返りをうちながら静かに眠りにつく
月はそれをだまっで見守っている

かがやき

花巻北中学校 一年 瀬川 玄造

真夏の暑い夜の日
窓から景色を見てみると

とてもきらきらとした
星空が浮かんでくる

とても暗い一軒の家に
さわやかな一筋の光が差す

朝の空

花巻北中学校 一年 齋藤 想來

朝、六時に起きて
カーテンを開けると
空一面に青が広がっている
気持ちがよくなる

天と街

花巻北中学校 一年 佐藤 煌大

朝方、天を見上げると

一つ突き刺す太陽が
街へと静かに舞い降りる
まるで神を見ているようだ

夏の声

花巻北中学校 一年 平野 陽翔

日が沈みきつた夏の日
蛍が森を夕日のように
優しく照らしている
コウロギが楽器のように
きれいな音を奏でる
夏の声が楽しくなる。

土曜日の空

花巻北中学校 一年 照井 稜矢

土曜日の昼部活が終わり家に帰り家の中に入り
家には、誰もいなく自分のベットに行き窓を開け
扇風機をつけ寝ると窓から昼の空が見え寝ようとし
でも夏で湿った空気が入って来る。

夏の空

花巻北中学校 一年 田中 綺聖

帰り道

ギラギラと

真つ赤な太陽が

笑うように照りつける

とても暑い

夏の空

うつすら見える月

花巻北中学校 一年 八重樫 昇生

寒い冬の登校中

うつすら見える月に

励まされる

星

花巻北中学校 一年 石塚 結愛

春の風

花巻北中学校 一年 佐藤 翠

春の暖かく穏やかな風が鳥のいきいきとした声を誘う。

春の山、風に吹かれ山にいる動物たちも暖かい風に包みこまれる。

暗い夜に一つの光が差し込む。

薄暗い雲を押し寄せて私を見るかのように

綺麗な月が見えてくる。

春草が春の涼しげな風を呼びかけるように
さらさらと音を立てる。

汗だくになりながら練習している夜

空を見上げると

たくさん星がキラキラと輝いている

まるでダイヤモンドのように輝いていた

春の始まり

花巻北中学校 一年 中田 悠稀

冬が終わる

冬が終わると春が始まる

空を見ると雲一つない晴れ

雲はゆらゆらと進む

雲を見ると春を感じる

春の空は暖かい

春の風は穏やか

春が始まる

春の風は新しい

春の風が吹くと春が始まる

花と蝶

花巻北中学校 一年 中屋敷 修芽

蝶が花のそばを舞い上がる

舞い上がった蝶がそばに来て蜜を吸う

甘い香り

蝶の色が変わる

花が蝶のそばにいる

花は、蝶が来て蜜を吸う姿を見た

綺麗な蝶

蝶の色が変わっていく

星空

花巻北中学校 一年 平賀 有

空に浮かぶ

無数の星が

満月に照らされ

北上川に映し出る

夜空の光

花巻北中学校 一年 高橋 瑠那

夏の夜

空を見上げる

きらきら輝く

たくさんの星

美しい三日月

夜でも空が

とても明るく

見えてくる

きらめく太陽

花巻北中学校 一年 内田 羽春

その君

今年ももう来たか

真つ青な空によく目立つ

雨のように流れる汗

焦げ臭い自分

今年の夏が始まった

真冬の夜

花巻北中学校 一年 千葉 佳杏

雪が舞い

星がはしやぐ

雪が輝き

月が微笑む

三日月

花巻北中学校 一年 桃井 弘翔

夏の空

月が夏の大三角の食べられるようだ

早朝

花巻北中学校 一年 杉本 壮介

朝

まだ寝ている時間

窓から入った日の光が

アラームのように

起こしてくれる

朝の空

花巻北中学校 一年 安藤 稔実

雲が一つもない

青空

まるで

波のない
海のようにだ

朝に昇る太陽

朝は過ぎしやすくて

風景が美しい

朝の太陽

花巻北中学校 一年 川村 沙那

朝のすがすがしい風が吹いている中
太陽は輝いている

輝いている太陽を見ると
背中をおしてくれたような気がした

夕焼け雲

花巻北中学校 一年 中島 舜平

雲よ

風にのって

ゆらゆらと

世界のどこまで

飛んでゆくのだ

梅雨の日

花巻北中学校 一年 菊池 龍翔

通り雨のあと

ふと空を見上げてみると

そこにはまるで

あじさいのようなすがすがしい

青色の空が広がっていた。

